

認証基盤の調査及び本学統合認証基盤導入に向けた活動

データベース部門長/工学部 金丸 邦康

本学では、統合認証基盤がまだ整備されていない状況が続いています。学術系では、 講義用 ID、研究用 ID、在学期間有効な ID 等が個別に利用されています。業務系では、 システムが導入されるごとにユーザ ID とパスワードを新規に割り振る状況が続いてい ます。

本センターでは学術情報部情報企画課と連携して、このような状況を打開するために 本学の状況に合わせた統合認証基盤について目下研究を進めています。その一環として、 既に認証基盤をもつ大学や文部科学省の推進する認証基盤関係プロジェクトなどを調査 しました。これまでに収集した情報に基づいて、統合認証基盤システム導入検討ワーキ ンググループが当センター内に設置されました。同ワーキンググループで、その基本構 想、システムの概要、導入・運用スケジュールなどをとりまとめました。

認証基盤の要素技術及び先行事例に関連するシンポジウム、研究会等

番号	1	開催日	平成 20 年 4 月 23 日		
名称	東京工業大学 2008 年学術国際情報センター(GSIC)セミナー				
	キャンパス ICT 統合環境の試み―PKI・IC カードとソフトウェア包括契約―				
会場	東京工業大学大岡山キャンパス本館 H111 講義室				
主催	東京工業大学学術国際情報センター (後援:NTT コミュニケーションズ				
	(株)、マイクロソフト(株)、(株) 三菱総合研究所)				
参加者数	約 100 名				
概要	大学における ICT 共通基盤構築において、予算やシステム多様化など、様々な問題がある中で、東京工業大学では平成 17 年度より情報環境の基盤整備を計画・推進し、平成 18 年度より運用を開始しました。その中核となっているのが、東工大ポータル、認証認可基盤 (IC カード化も含む)、マイクロソフト社包括ライセンスです。本セミナーでは、東工大のスタッフ及び導入等関連企業より、その取組みについて、6 件の講演が行われました。本セミナーでは、技術面だけでなく、予算の扱い(全学予算かセンター予算か)、整備の方針策定にあたってのノウハウなど、本学における認証基盤整備においても十分参考となるものでした。東京工業大学の規模にしては、検討開始から導入・運用開始までの期間が極めて短く(7~8ヶ月)、トップの強力なリーダーシップがうかがえるといえるでしょう。				

番号	2	開催日	平成 20 年 7 月 23 日
名称	UPKI 認証連携基盤によるシングルサインオン実証実験説明会		

Information Media Center Annual Report 2009

会場	国立情報学研究所(NII)		
主催	国立情報学研究所		
参加者数	約 80 名		
概要	本実証実験は NII を中心に、認証基盤及び学術系サービスの大学間連携の仕組みを構築しようとするものです。UPKI プロジェクトのステップとして、大学間連携によるシングルサインオンによる学術サービス提供に関する実証実験について説明がなされました。 実験は大きく分けて 2 種類行われるとのことでした。NII のシングルサインオンの利用実験と参加機関によるアイデンティティプロバイダ構築・運用実験について、実験の概要と参加方法が説明されました。 本実証実験に使用するシステムは、オープンソースソフトウェアとして開発されていて、国外での大規模な運用実績を有しているため、相当の信頼性があると考えられます。その意味では、一定程度の実現性があるでしょう。 UPKI:全国大学統合認証基盤のこと。各大学の持つ統合認証基盤を相互に接続することによって、どの大学にいても自身のユーザ ID (所属大学で発行されたもの)でネット環境にログインできるようになる。現在、研究開発途上。 シングルサインオン:1組の ID・パスワードを用いて1回認証を行うことで、そのユーザの権限で利用可能なアプリケーションすべてにアクセスできる仕組み。アプリケーションごとに個別にログインせずに済むのが特徴。		

統合認証基盤システム導入検討ワーキンググループ開催日程

会 合	日程
第1回会合	平成 21 年 2 月 5 日 (木) 13:30~14:30
第2回会合	平成 21 年 3 月 4 日 (水) 10:30~12:00
第3回会合	平成 21 年 3 月 11 日 (水) 10:00~12:00
第4回会合	平成 21 年 4 月 21 日(火)10:30~12:20